



2024年5月20日

各位

会社名 ケミプロ化成株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 俊 寿 志
(コード: 4960 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員社長室長 竹内 亨
(TEL: 078-393-2535)

新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2025年3月期を初年度とし、3ヶ年(2024年度から2026年度)で推進する中期経営計画(以下、本計画という)を下記の通り策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本計画の名称

ケミプロ化成経営革新プランⅢ ～ Flexible for Sustainability ～

2. 本計画の位置付け

当社は、2018年度より初の3ヶ年中期経営計画『ケミプロ化成経営革新プラン〔Reborn(再生)プラン〕』を稼働させ、第1目標であった売上高100億円の突破を2020年3月期において実現しました。その後、2021年度より3ヶ年で推進する第2期中期経営計画「ケミプロ化成経営革新プランⅡ Reborn to Flexible」を立ち上げ、Reborn(再生)を完了し、Flexible(しなやかな)企業を目指す取り組みを進めてまいりました。しかしながら、数々の逆風や課題に阻まれ、経営目標や業績計画については目指す水準を達成できませんでしたが、逆風や課題への対応を通じ、変化に柔軟に対応する意識や企業風土の醸成は確実に進みました。本計画は、2024年度より3ヶ年で推進し、これまで培ってきたものを活かし、さらに進化させ、経営目標と業績の向上と達成を目指すものであります。

3. 本計画の基本コンセプト 《Flexible for Sustainability》

「Flexible(しなやかな)な企業となり、Sustainability(持続可能性)を追求する」

社名の由来であるケミストリー(化学)によるプロスペリティ(繁栄)実現に向け、「いいなと思われる、自慢できることがある会社になろう!」という中長期ビジョンのもと、社会から必要とされ、お客様から頼りにされ、社員と家族が誇らしく思う会社を目指します。

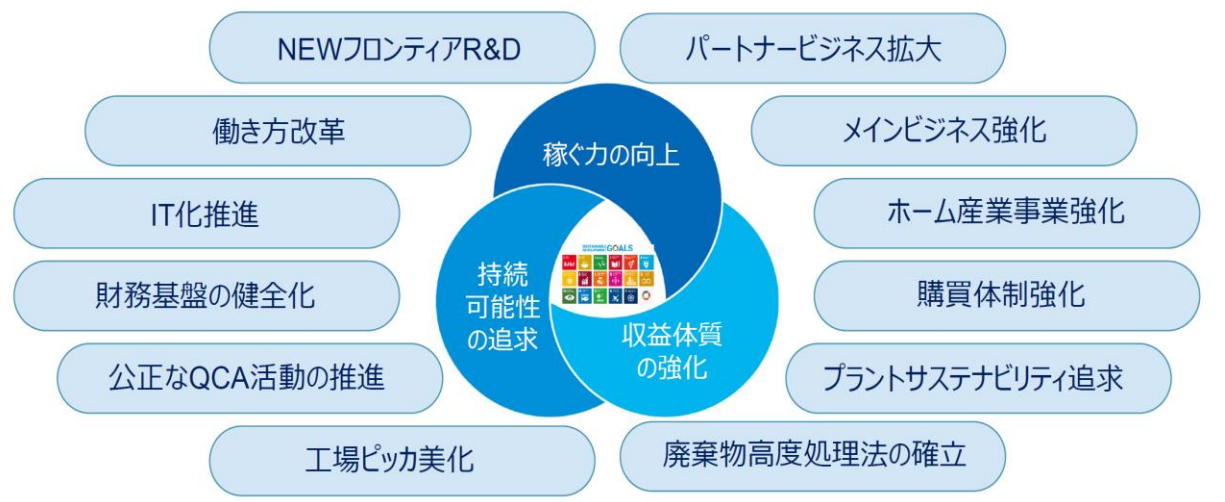
*Flexible(しなやかな)の意味

し	消費者(顧客)目線の「し」	社会性が高い企業
な	なくてはならない「な」	持続性が高い企業
や	役割分担が上手い「や」	応用力が高い企業
か	環境順応性が高い「か」	柔軟性が高い企業
な	永く稼げる安定収益モデルを持つ「な」	強靱な企業

4. 重点方針とタスクフォース活動

「稼ぐ力の向上」、「収益体質の強化」、「持続可能性の追求」の3方針を本計画の重点方針とし、これらに基づき実施する施策を具体化し、以下のタスクフォース活動に落とし込んで推進すると同時に、SDGsの推進にもつなげるよう実践してまいります。

具体的な内容は下表をご参照ください



<重点方針とタスクフォースおよび主な具体的な取り組み内容>

重点方針	タスクフォース名	主な具体的な取り組み内容
稼ぐ力の向上	NEW フロンティア R&D	マーケットに訴求できる製品の開発、新規事業の展開・強化、次の主力事業となり得る製品開発検討
	パートナービジネス拡大	受託製品の展開強化 新規事業の展開・強化
	メインビジネス強化	既存事業・製品の販売強化、マーケットに訴求できる製品の開発、低環境負荷製品の開発
	ホーム産業事業強化	既存事業・製品の販売強化、低環境負荷製品の開発、受託製品の展開強化
収益体質の強化	購買体制強化	安定・安価な原材料購入による工場操業の安定化 利益向上への貢献
	財務基盤の健全化	抜本的な在庫圧縮・回転率向上 有利子負債の圧縮
	IT化推進	全社基幹業務システムの再構築 生産性向上に寄与する業務改善、コスト削減
持続可能性の追求	プラントサステナビリティ追求	同一製品製造可能ラインの複数化 将来の適正生産体制検討
	廃棄物高度処理法の確立	革新的な廃水処理技術の探索、確立
	工場ピッカ美化	作業環境改善 汚染源特定による効果的な美化推進
	公正な QCA 活動の推進	QCA 力量の向上 環境に配慮できる分析技術の確立
	働き方改革	報酬水準の見直し 人員・組織体制の適正化

5. 経営目標(最終年度：2027年3月期)

経常利益率	5%以上
自己資本利益率 (ROE)	7%以上
自己資本比率	39%以上

*ご参考：2024年3月期実績 (経常利益率：1.4% ROE：2.7% 自己資本比率：34.1%)

6. 業績計画

(単位：百万円)	2024年 3月期 注①	2025年 3月期	2026年 3月期	2027年 3月期
売上高	9,236	9,800	10,500	11,000
経常利益	132	200	500	600
当期純利益	126	140	300	360

注①：2024年5月10日に開示した「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」をご参照下さい。

(注) 本資料に記載されている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上